

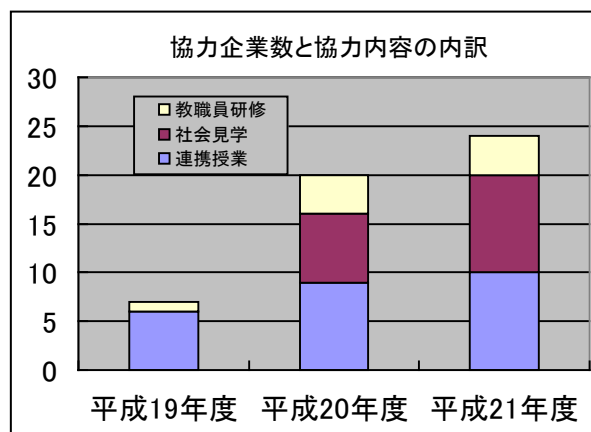
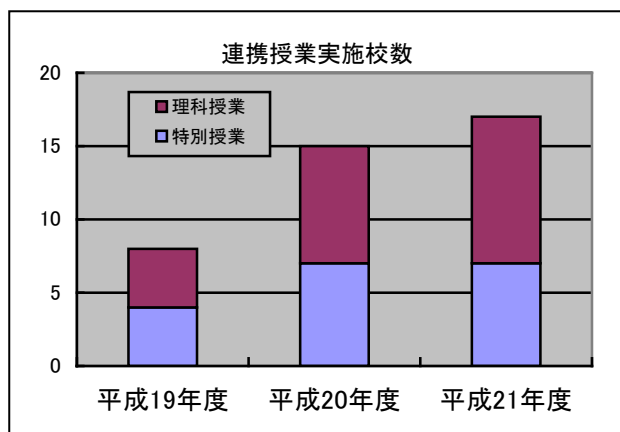
ねらい

本市には、石油コンビナートに関連するたくさんの企業や事業所があります。そこでは、最先端の研究開発が行われ、私たちの身の回りにある製品や、思いもよらない素材等が製造されています。こうした企業が持つ知識・技能・経験等を幅広く活用し、理科教育をはじめとする教育活動の充実をめざし、企業との連携を実施しています。

現状と課題

ホームページにて協力企業の紹介や連携授業の概要等について情報発信したことにより、本事業を活用する学校数が増加しました。また、連携授業の他にも協力いただける企業数が増加しています。

<企業連携教育の実績>



<企業連携授業の様子>

写真は、企業連携による理科授業の光景です。授業では、教師と企業人講師が役割分担をして、授業を行います。企業の製品など



による実験が豊富に準備されていて、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいました。写真左は、世界ではじめて開発に成功した「瞬間調光ガラス」に驚く子どもたちです。

※「瞬間調光ガラス」・・・電流を流すと一瞬にして透明になるガラス

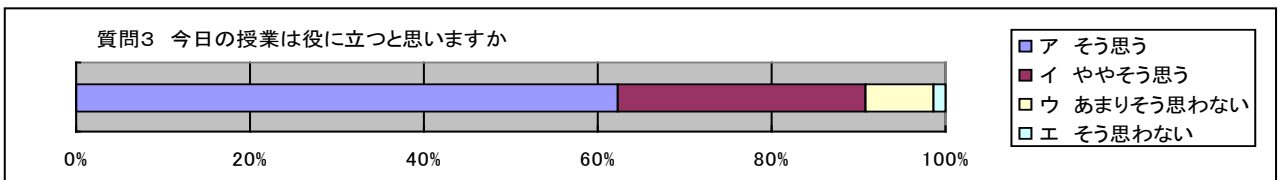
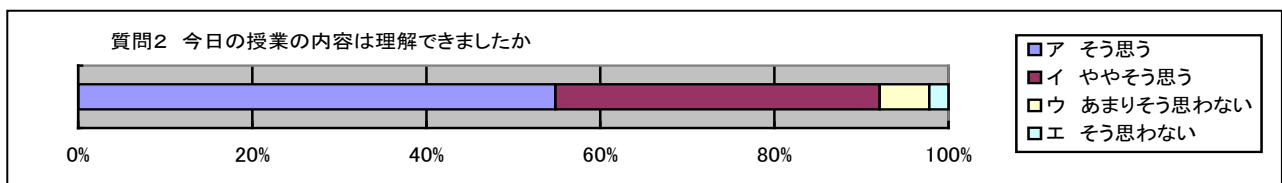
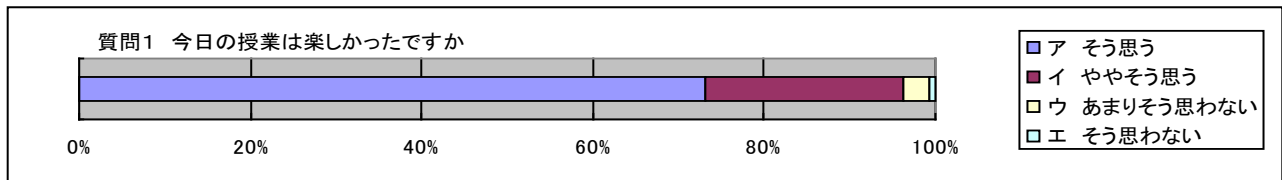
今後の方向性

- 教員と企業人講師との協働による「理科授業」づくりを進めます。
- 教育委員会のホームページで、企業連携授業の情報を積極的に提供します。
- 教育委員会の教職員研修講座において、企業人講師による講座を継続して開設します。

主な取組状況

1 企業連携授業後の児童生徒アンケート

- 企業連携授業後の児童生徒アンケートには、企業人の知識や技能をいかした理科授業の内容におもしろさを感じ、体験的な学習をとおして理科に対する関心が高まったという感想が多く全体的に好評でした。
- 独自のプログラムを持つ企業もあり、キャリア教育や環境教育、食育など幅広い内容の「特別授業」として対応しています。そのことが、子どもたちの興味・関心をひき出し、自分の将来や生き方等について考えている感想も多くありました。



2 教職員研修講座後のアンケート

- 教育支援課が実施した教職員研修講座においては、中学校理科担当教員ばかりでなく、中学校社会科担当教員や小学校教員の参加も多く見られ、研修後のアンケートにおいても参加教員の80%以上が「満足できる」との回答がありました。
- 参加希望者が定員を上回るほど教職員にとって企業人講師による研修は魅力的であり、実際にモノに触れたり見学したりする研修をとおして得た専門的知識等を、その後の授業に生かそうとしている教職員が多いことが明らかになりました。

